

富富富 特報

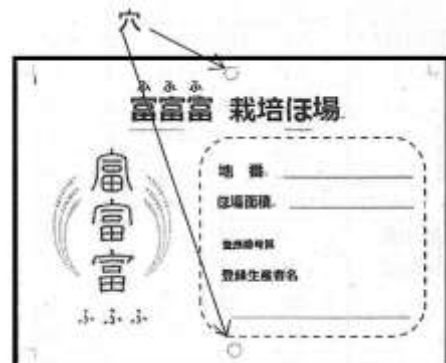
化学合成農薬の成分使用回数12以内、化学肥料地域慣行の基本2割減として栽培し、出荷基準の検査等級1等、玄米水分14.1~15.0%（玄米タンパクは目標として6.4%以下）を達成しましょう。

1 品種名の表示 ~他の品種との区分管理を徹底する~

- ・育苗作業及び田植時に混種が起こりやすいので、品種ラベルを貼付けして、誰でも品種がわかるようにしましょう。
- ・作業員全員が品種をまちがえないように掲示等の工夫をしてください。
- ・ほ場には、富富富の立札を設置することになっています。（6月中旬配布予定）



品種名の表示による区分管理



2 育苗 ~健全な苗づくり~

- ・育苗管理は他の品種と同じですが、4月下旬以降は気温が上昇し、苗が長くなるので、搬出直後から換気しましょう。
- ・的確な水管理により活力の高い苗に仕上げましょう。

3 苗箱施薬剤の散布 ~苗箱施薬剤は、除草剤と間違えないように散布~

- ・は種時覆土前~移植当日に、1箱当たり50gを均一に散布しましょう。

フェルテラ箱粒剤※ 1成分

※害虫駆除のみで、葉いもちの薬剤は含んでいません。

4 基肥 ~適正な基肥量を施用する~

施肥体系	肥料名	施用量の目安※
一発体系	富富富専用	30~32kg/10a（側条）
分施肥体系	基肥206号	24~28kg/10a（側条）

※大豆跡や堆肥を施用した場合は、有機質の地力発現を考慮しましょう。

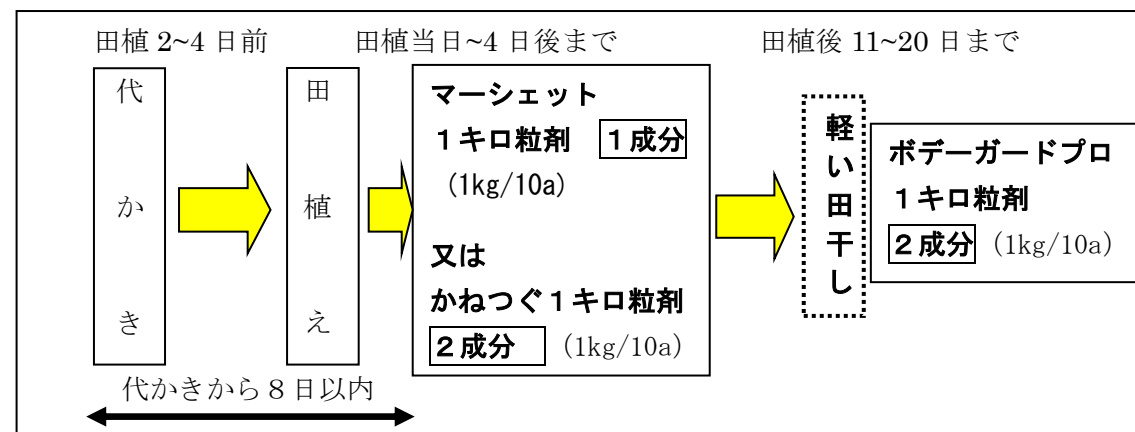
いよいよ本格作付け開始！高品質で美味しい「富富富」づくり！

5 田植え ~適正な田植え作業の実施と初期の水管理の徹底~

- ・5月15日を中心とした田植えを行いましょう。
- ※但し、老化苗となるのであれば早めに移植してください。
- ・栽植株数は坪当たり70株を基本としましょう。
- ・田植後の2~3日間はやや深水とし、その後は浅水管理で分けつの発生を促しましょう。

6 除草剤の散布 ~使用方法を厳守し、適期に散布~

- ・前作が水稲の場合は、漏生苗の抜き取りの労力を軽減するため、初期剤は必ず施用しましょう。
- ・散布後7日間は落水やかけ流しは行わないようにします。



※初期剤を田植え同時処理する場合は、田植え後、直ちに入水しましょう。

7 栽培・出荷における留意事項 ~必須要件をクリアして消費者に販売~

- ・栽培期間に使用できる化学合成農薬の成分使用回数は12以内です。

※やむなく農薬体系以外の農薬を使用する場合は事前に営農指導員に相談ください。

